

第 8 回 民間規格等制改定プロセス評価委員会 議事要録

1. 開催日時：令和 6 年 1 月 25 日（木） 13:30～15:20
2. 開催場所：日本電気協会 B 会議室+Web
3. 出席者：(敬称略)
 - 【委員長】 日高〔東京電機大学〕
 - 【委員長代理】 熊田〔東京大学〕
 - 【委員】 若月〔主婦連合会〕
藤本〔電気事業連合会〕
奥田〔電気保安協会全国連絡会〕
東嶋〔科学ジャーナリスト〕
 - 【委任状提出】 會津〔全日本電気工事業工業組合連合会〕、高本〔(一社) 日本電機工業会〕、首藤〔(株) 社会安全研究所〕、中村〔ひなた総合法律事務所〕
 - 【オブザーバー】 石井、佃〔経済産業省〕
 - 【事務局】 吉岡、小林、永野、廣瀬〔(一社) 日本電気協会〕

4. 配付資料：

※ 資料番号に下線が付いているものは、著作権の関係から資料を配付せずに画面投影のみとした。

資料 No.1-1 民間規格等制改定プロセス評価委員会 委員名簿（令和 6 年 1 月 25 日現在）

資料 No.1-2 競争法に係わるコンプライアンス規程

資料 No.1-3 第 7 回 民間規格等制改定プロセス評価委員会 議事要録(案)

資料 No.2 本日のプロセス評価委員会でご承認いただきたい全体評価書（案）の概要について

資料 No.3-1 JIS C 3503(2020)「CATV 用（給電兼用）アルミニウムパイプ形同軸ケーブル」に関する全体評価書(案)

資料 No.3-2 JIS C 3503(2020)「CATV 用（給電兼用）アルミニウムパイプ形同軸ケーブル」

資料 No.4-1 JIS C 1736-1(2021)「計器用変成器（電力需給用）－第 1 部：一般仕様」に関する全体評価書(案)

資料 No.4-2 JIS C 1736-1(2021)「計器用変成器（電力需給用）－第 1 部：一般仕様」

資料 No.5-1 JEC-2374:2020「酸化亜鉛形避雷器」に関する全体評価書(案)

資料 No.5-2 JEC-2374:2020「酸化亜鉛形避雷器」

資料 No.6-1 JIS C 8201-4-1(2023)「低圧開閉装置及び制御装置－第 4－1 部：接触器及びモータスタータ：電気機械式接触器及びモータスタータ」に関する全体評価書(案)

資料 No.6-2 JIS C 8201-4-1(2023)「低圧開閉装置及び制御装置－第4－1部：接触器及びモータスタータ：電気機械式接触器及びモータスタータ」

資料 No.7-1 JIS A 1108(2018)「コンクリートの圧縮強度試験方法」に関する全体評価書(案)

資料 No.7-2 JIS A 1108(2018)「コンクリートの圧縮強度試験方法」

資料 No.8-1 JIS G 3114(2022)「溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材」に関する全体評価書(案)

資料 No.8-2 JIS G 3114(2022)「溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材」

資料 No.9-1 JIS C 3005(2014)「ゴム・プラスチック絶縁電線試験方法」に関する全体評価書(案)

資料 No.9-2 JIS C 3005(2014)「ゴム・プラスチック絶縁電線試験方法」

資料 No.10 電気設備の技術基準の解釈の改正及び民間規格との関連付けに関する要請(経済産業省への要請文書)

資料 No.11 第122回日本電気技術規格委員会 議事要録(案)

参考資料1 民間規格評価機関の評価・承認による民間規格等の電気事業法に基づく技術基準(電気設備に関するもの)への適合性確認のプロセスについて(内規)の制定について

参考資料2 日本電気技術規格委員会 規約等一式

参考資料3 民間規格等制改定プロセス評価委員会 今後の開催予定

参考資料4 第7回 民間規格等制改定プロセス評価委員会 全体評価書(審議後・抜粋)

5. 議事要旨：

5-1. 出席委員の確認及び委員会の成立

事務局より、本日の出席者10名(委任状と代理出席者を含む。)であることが報告され、日本電気技術規格委員会規約で定める定足数7名(委員総数の3分の2以上)を満たすことから民間規格等制改定プロセス評価委員会(以下、「プロセス評価委員会」という。)の成立が確認された。

5-2. オブザーバー参加者の確認

事務局より、本日のオブザーバーについて、経済産業省 石井課長補佐、佃様の参加報告があった。

5-3. 議題及び配付資料の確認

事務局より、議題及び配付資料について説明があった。その後、本日の議題が資料 No. 1-2 の競争法コンプライアンス規程第 4 条(禁止事項)にあたらぬことが委員会で確認された。

5-4. 前回（第 7 回）委員会議事要録案の確認 （審議）

事前配布した資料 No. 1-3 の第 7 回民間規格等制改定プロセス評価委員会の議事要録案について、最終的な確認が行われた。

審議の結果、「A12（事務局）」を「A12」に修正することを条件に、全員賛成により議事要録は承認された。

5-5. 全体評価書（案）の審議について （審議）

事務局より、資料 No. 2 から資料 No. 11 に基づき、全体評価書（案）等について説明があった。

審議の結果、以下の全体評価書（案）は、資料 No. 2 の指摘事項を反映することを条件に全員賛成により承認された。

全体評価書は、要請書に添付し国へ提出する。

- JIS C 3503(2020)「CATV 用（給電兼用）アルミニウムパイプ形同軸ケーブル」に関する全体評価書
- JIS C 1736-1(2021)「計器用変成器（電力需給用）－第 1 部：一般仕様」に関する全体評価書
- JEC-2374:2020「酸化亜鉛形避雷器」に関する全体評価書
- JIS C 8201-4-1(2023)「低圧開閉装置及び制御装置－第 4－1 部：接触器及びモータスタータ：電気機械式接触器及びモータスタータ」に関する全体評価書
- JIS A 1108(2018)「コンクリートの圧縮強度試験方法」に関する全体評価書
- JIS G 3114(2022)「溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材」に関する全体評価書
- JIS C 3005(2014)「ゴム・プラスチック絶縁電線試験方法」に関する全体評価書

(質問 Q、回答 A、コメント C)

C1：資料No.2、P23、現行欄の(ハ)は改定案の対象となるため、他の箇所と同様にして、文字を太字の下線付きに修正すること。

Q1：資料No.3-1、P1、「2. 委員会の議決状況」の説明欄「①第 122 回 日本電気技術規格委員会」では、賛成等の人数がきちんと書かれているが、P2、「6. 民間規格等作成機関の審議の状況」の説明欄「④民間規格等作成機関の議決状況」では、全員賛成となっているものの、議決参加人数等の詳細が記載されておらず、表記が整合されていない。表記が整合されていなくても良いのか。

A1：「6. 民間規格等作成機関の審議の状況」の説明欄「④民間規格等作成機関の議決状況」は、議決対象外の方がいないため、議決参加人数等の記載がない。本欄の記載は、民間規格等作成機関が提出した審議要請書の内容をそのまま転記してい

る。なお、議決状況の記載に関する決まりはないため、別の民間規格等作成機関では、今回と異なる記載になる場合もある。

Q2：資料No.3-1、P2、「6. 民間規格等作成機関の審議の状況」の説明欄「④民間規格等作成機関の議決状況」において、「全員賛成（委員総数 14 名、2 名欠席）により可決」と記載されている。欠席者を含めて決議をしているのか。一般的には、欠席者を除いて決議しているため、「全員賛成」とするのはあまり良くないのではないか。議決上は過半数を超えているため、今回は資料の修正をしなくても良いが、今後は JESC で審議する前に、記載について JESC 事務局で確認してはどうか。

A2：本項目は、民間規格等作成機関が記載した内容をそのまま転記したものである。民間規格等作成機関に連絡し、今後は「2. 委員会の議決状況」の説明欄「①第 122 回 日本電気技術規格委員会」と同様の記載にして頂く。

Q3：資料No.10、P1、国への要請書は、従前よりこの表記となっているのか。

A3：要請書の書式についての決まりはないが、JESC が民間規格評価機関になる前より、同じ表記としている。

Q4：国への要請書の文章は、他の場合はどうなっているのか。

A4：他の団体については分からないが、日本電気協会 技術部から発信する文書は同様の記載となっている。

6. その他

事務局より、今後のプロセス評価委員会の開催予定について説明があった。

日程は別途調整の上決定することとした。

なお、参考資料 3 は、委員会後に 2024 年のスケジュールを修正したものを送付する。

以 上